

絵を描くときが一番楽しい！

桜野小学校5年生
峯 果音さん

絵画教室ラ・ビダ会で、大好きな絵画に没頭中！



小さいころから、とにかく絵を描くことが大好きで、通っていた幼稚園のお絵描きの時間に絵を習ったことで、ますます好きになりました。家ではいつでもどこでも描けるように、どの部屋にも色鉛筆・クレヨンと白い紙を用意しています。

昨年からは、知り合いの紹介で、毎週金曜日に開催されている絵画教室「ラ・ビダ会」に通い、本格的に絵の勉強を始めました。現在、テーマに選んで描いているのが「猫」。実際に家でも15匹猫を飼っていて、ふわふわしてかわいいところが大好きです。写真の絵は、8月にNHKギャラリーで開催された絵画教室



合同作品展にも出展しました。もっと上手くなって、難しい馬を題材とした絵を描くことが目標です。

普段はおとなしく、運動もあまり得意ではないけれど、いったん筆を握ればすさまじい集中力で絵の世界に没頭し、周囲の声も聞こえなくなるほど。お母さんが「生き物が好きで、よくカエルやカタツムリなど



松永 悠吾くん(長男・右)

美羽ちゃん(長女・左)

(4歳と1歳／南風台) 司さん・真由美さんの長男・長女

気が利く悠吾は、妹のオムツや靴を履かせてくれたり、ママのお手伝いも率先してやってくれます。将来の夢は救急救命士だそうです！美羽は、おてんばで誰にでも笑顔を振りまく愛嬌者。みんなに可愛がられてすくすく育っています。外で遊ぶのが大好きな2人。元気で思いやりのある子に育ってほしいですね。

市民のみなさんの、お子さんへのメッセージをお待ちしています。
申し込み・問い合わせ／糸島市秘書広報課 ☎(332)2111



特定非営利活動法人「ぼうぼうネット」 事務局長 山崎隆弘さん

平成16年に地域防災活動を支援する中間支援組織「防府/防災ネットワーク推進協議会」を、平成21年に特定非営利活動法人「ぼうぼうネット」を設立。現在、自主防災組織の設立・活動の支援や行政防災部門との連携による地域防災の活動指導員育成など、官民連携型で地域防災力を高める活動の支援を行っている。

地域の絆が命を救う

シリーズ

自主防災組織

2

災いは必ず来る 地域防災力を身に付けて備えを

「居安思危」で始める
地域防災

「備え有れば患い無し」。誰もが知っている有名な言葉ですが、本来はその前にたいせつな言葉があることはあまり知られていません。中国の史書『春秋』の注釈書には、「居安思危(安きにありて危うきを思う)思則有備(思えばすなわち備え有り)有備無患(備え有れば患い無し)」とあります。すなわち、日ごろから何がどう危険なのかを考え、その危険に對し備えることが重要なのです。

自主防災組織が救った
50人の命

東日本大震災で甚大な被害を受けた仙台市若林区。地震発生から1時間10分後、ある特別養護老人ホーム(鉄筋コンクリート2階建て)に津波が押し寄せました。だが一人の犠牲者も出ませんでした。地域の自主防災組織と施設職員が連携して、入所者50人全員を関連施設へ連れて行けたからです。彼らは日常、消防士と一緒に災いに対する勉強をしていました。どこが

どう危険なのか、よく知っていました。だから2階に逃げてもダメだということを理解していたのです。危険に備えて日ごろから訓練していました。だから地域の連携で命を守ることができたのです。

自主防災組織の役割

実際、過去には糸島近辺を震源地とする大地震が発生しています。(1898年:志摩小金山でマグニチュード6、1930年:雷山でマグニチュード5、2005年:福岡西方沖でマグニチュード7)。災いは、決して他人事ではない。必ず来るものと覚悟しておいてください。

その上で、日ごろのコミュニケーションの中で現地を見て、危険箇所などを事前に把握しておく。地域にどんな自然災害が来るのか、先によく理解して防ぎ方方法を考えなければなりません。地域の危険は地域でないと分かりません。行政がすべて把握するのは困難だからです。

災害時要援護者は、誰がいつ声をかけるのか。どのタイミングでどこへ避難するのか。そうした人の動き、の生態をジッと観察していきますよ」と言われるように、その観察力が絵を描く上で、大いに役に立っていることでしょう。絵画教室で講師を務める溝口哲平さん(洋画家・太平洋美術会参与)は、今のうちから物をしっかりと見て描写力を鍛えれば、きつと素晴らしい絵が描ける」と、その秘められた才能に期待を寄せています。



災害図上訓練の様子(平成22年、東風校区にて)

情報の伝達手段については、ハザードマップを用いた災害図上訓練(DIG※)が非常に有効です。DIGでイメージをつかんだら、次はそれを踏まえて実際に地域を歩いてみる。危険箇所を知り、写真を撮り避難マップを作る。このような実動と訓練による備えが必要なのです。

「あの時、ちゃんと備えておけばよかった」と後悔しないよう、自主防災組織をつくって地域防災力を高めておくことがたいせつです。

平成23年9月2・6・7日に開催した「糸島市自主防災組織設立促進講演会」での講演内容を再編集したものです。

※Disaster(災害) Imagination(想像力) Game(ゲーム)の略